大阪ミュージアム構想
"Osaka, The Museum" Concept

箕面市
箕面大滝

河内長野市
高野街道

枚方市
京街道

歴史のまちなみぶらり

Buratto
ぶらっとおおさか
OSAKA
エリアガイド

富田林市
寺内町

岸和田市
岸和田城

柏原市
太平寺

個性と魅力あふれる大阪のまちが
みなさまをお待ちしております

石畳と淡い街灯まちづくり連携協議会

洗練された石畳と淡い街灯のまち

「石畳と淡い街灯※まちづくり支援事業」について

本事業は、「大阪ミュージアム構想」のコンセプトのもと、次のようなことを目的として、「石畳と淡い街灯」など、まちの個性や魅力を引き出すまちづくりに取り組んでいます。

①大阪に対する誇りや愛着を高める
②地域活動を継続的なまちづくりへと発展させる
③大阪の魅力を全国へ発信し交流の促進を図る

※「石畳と淡い街灯」は具体的な整備内容を指す名称ではなく、象徴的な名称として用いております。

大阪ミュージアム構想
"Osaka, The Museum" Concept

大阪は、まち全体がミュージアム

大阪府内には、歴史的なまちなみや豊かなみどり・自然など、その場に立てば素晴らしい「空気感」を感じることのできる、魅力的な地域資源がたくさんあります。

大阪府では、『「明るく」「楽しく」「わくわく」するまち・大阪』を実現するため、まち全体を「ミュージアム」に見立て、魅力的な地域資源を発掘・再発見し、磨き・際立たせ、結びつけることにより、大阪のまちの魅力を内外に発信する「大阪ミュージアム構想」を推進しています。

箕面市

阪急箕面駅周辺箕面公園沿道地区
「箕面ロマン」を体感できる交流空間の創出事業

枚方市

枚方宿と枚方浜周辺地区
淀川と京街道でにぎわう枚方宿のまちづくりプラン

岸和田市

岸和田城周辺地区
「世界に一番近い城下町」の魅力を活かした
にぎわい創出事業

柏原市

太平寺地区
歴史のロマンとぶどうの香るまち

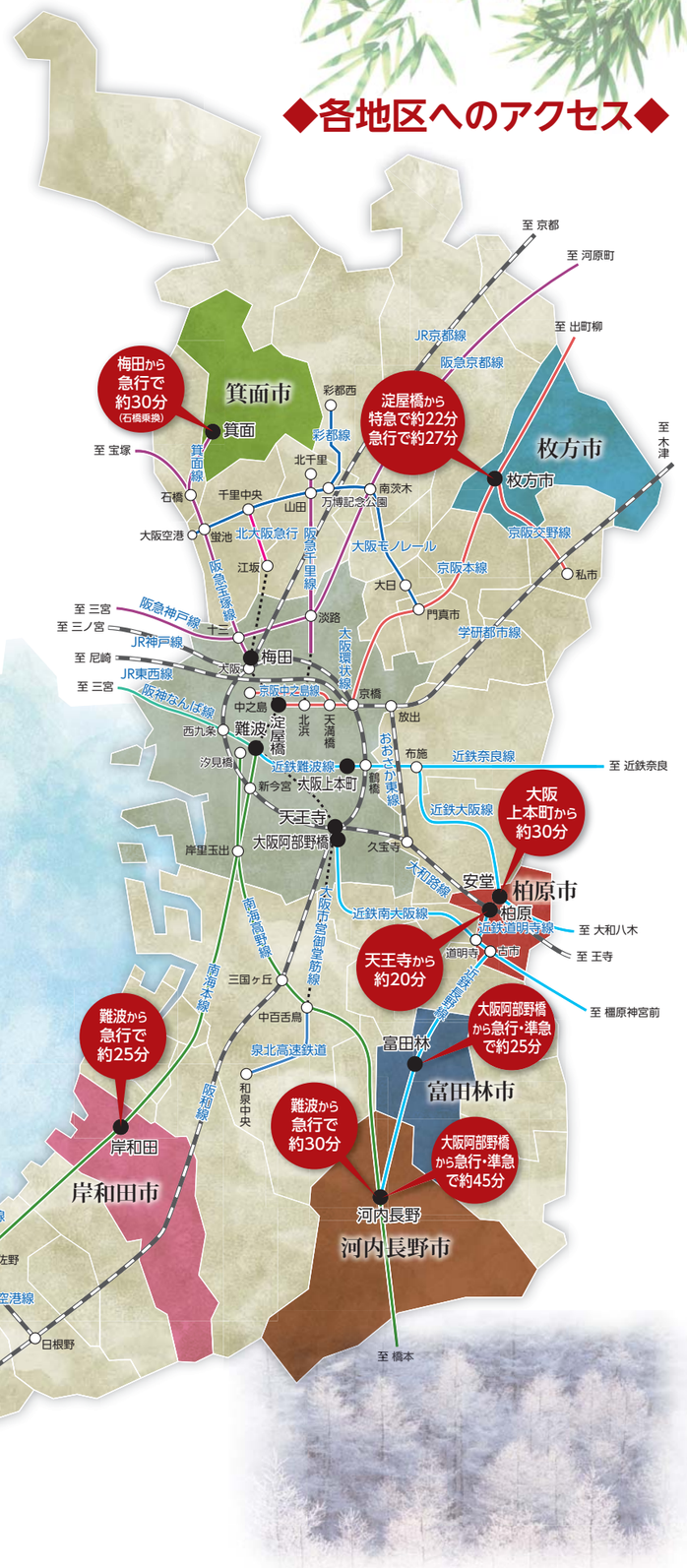
富田林市

富田林駅南地区
寺内町にふさわしい賑わいと
おもてなしのあるまち並み創出事業

河内長野市

高野街道周辺地域
（河内長野駅から三日市町駅間）
高野街道にぎわい・まち並み再生プラン
（いにしえのみち復活プロジェクト）

◆各地区へのアクセス◆



6地区をぶらり巡ってみませんか。

地域のみなさまの協力のもと、「石畳と淡い街灯のまちづくり」を進める６地区から、歴史・文化ある大阪のまちを感じてください。

次頁から各地区まちづくりのコンセプト及びその成果、その他観光情報等を紹介しております。

各地区へのアクセスは右ページをご覧ください。

明治の森へ
いざなう街

箕面市

「箕面ロマン」を体感できる交流空間の創出事業

モミジーヌ
箕面市公式
ブログナビゲーター

滝ノ道ゆずる
箕面の柚子
PRキャラクター

上記QRコードから簡単にホームページへアクセスできます。
(PCサイトへ移動)

箕面市観光案内▶http://www.city.minoh.lg.jp/kankou/index.html

箕面市からのメッセージ

大阪府北部に位置する箕面市は、滝ともみじに代表される風光明媚な景観の宝庫。大都市近郊にありながら「明治の森箕面国定公園」など豊かな自然に恵まれています。都会の喧騒を離れ、清流と緑の木々に心が洗われると、生まれ変わった「自分」を感じられるはず！

また、箕面駅から瀧安寺付近まで、ガス燈風街路灯とフットライトを灯し、より魅力的に夜の滝道を演出します。ぜひお越しください。

整備前後の状況

●ガレリア

箕面駅前の新たなシンボルとして「ガレリア」を新たに整備。滝道への出発点、駅への到着点として、みなさんに親しまれることを願っています。

整備前

整備後

●ウェルカムゲート

本通り商店街の入り口にウェルカムゲートを設置。滝道から箕面駅、「アーケード」を通って、ウェルカムゲートを抜けると、にぎわいの商店街へ。

整備前

整備後

●滝道景観整備

滝道の電柱・電線を一部なくし、路面を自然色舗装、街路灯をガス燈風に整備。「箕面ロマン」、明治の町並みを思わせる風情を再現しました。

整備前

整備後

まちなみの特徴

箕面大滝

落差は３３m。「日本の滝百選」にも選ばれている名瀑。流れ落ちる姿が、農具の「箕」に似ていることから、箕面大滝と呼ばれるようになり、地名の由来となったと言われています。

紅葉のシーズンは多くの観光客でにぎわいますが、初夏も色鮮やかな若葉に滝の音が冴えわたり、我を忘れるほどに見事です。

箕面公園昆虫館

滝道の中ほどにある昆虫館。昆虫は、小学校３年生の教科書にも出てくる身近な生き物。知らなかった昆虫のヒミツが分かるイラストや模型を使った展示は女性にも人気。また、世界の昆虫を見ていると見聞が広がります。温室では人を怖がらないチョウがよって来て、しばし時間の経つのを忘れてしまうほど。

もみじの天ぷら屋が並ぶ滝道

箕面駅から箕面大滝へと続く2.7kmの散策道。整備により、すっきりした景観に。滝道沿いの店先では、箕面名物「もみじの天ぷら」が楽しめます。

約1,300年前に、箕面山で修行していた役行者がもみじの美しさを賞賛して、自然の風味を生かした天ぷらを作り、旅人に供したのが始まりと言われています。

地域の耳寄り情報

「箕面逸品」がそろう、みのお本通り商店街

新しく整備されたウェルカムゲートから本通り商店街へ。箕面産の野菜を使用したランチや、紅葉をモチーフにした雑貨など…そんな、箕面ならではの商品を「箕面逸品」としてご紹介しています。

みなさんも「箕面逸品」をそろえた本通り商店街を楽しんでみませんか。写真のタペストリーが参加店の目印です。(なお、「箕面逸品」は市内全域で展開している事業です)

観光ボランティア情報

箕面観光ボランティアガイドは、「箕面の豊かな自然と歴史の中で、喜べたこと、楽しめたことを伝えたい」をモットーに、箕面の自然や歴史、文化を無料で案内いたします。

ハイキングと史跡探訪それぞれ5コースずつの標準コースを設定していますが、ご要望にもお応えします。

【お問い合わせ・お申込み先】
箕面 交通・観光案内所
☎072-723-1885 ＊1週間前(10名以上のグループは2週間前)までに、2人以上のグループから受付可能です。お気楽にご利用ください。

箕面駅「もみじの足湯」

2011年3月27日にオープンした癒しスポット箕面駅「もみじの足湯」。
滝道散策の帰り道や駅前周辺での買い物途中など、お気軽にご利用ください。
定休日：木曜日（祝日の場合は翌日、11月は営業）年末年始

箕面市イベント情報

みのお・瀧道四季のまつり

日時：年4回　1週間程度
場所：箕面滝道周辺

箕面の四季の魅力を自然・歴史・文化の視点から多くの方に楽しんでいただくことを願い、地元商店会が開催。

春夏秋冬の年4回、箕面の森と商店街がまるごと楽しめるイベント空間になります。

箕面富

日時：毎年10月10日
場所：瀧安寺

「箕面富」は、約950年前の平安時代には既に行われていた富くじで、現在の宝くじの起源です。明治時代に中止を余儀なくされましたが、平成21年に約140年の時を経て、古式に則り復活しました。毎年10月10日に行われます。

箕面山七日市

日時：毎月7日
場所：阪急箕面駅周辺商店街、滝道

箕面山瀧安寺で行われる護摩供に合わせ開催。参加店は130店舗を超え、振る舞いやお買い得商品など特典がいっぱい!

護摩の市、寄席わいわい亭、お店巡りツアーなどの他、11月には山伏大行列も開催されます。

箕面観光ボランティアガイド　オープンハイキング

日時：毎月1～2回開催
場所：箕面のハイキングコースや市街地など

箕面観光ボランティアガイドと一緒に箕面の自然や歴史の名所などを歩く自由参加型のハイキングです。事前申込は不要です。開催日時、行き先などはホームページでお知らせします。

明治の森箕面国定公園もみじまつり

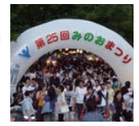
日時：11月
場所：明治の森箕面国定公園一帯

色鮮やかな紅葉が、来園者をお迎えします。期間中は、「もみじまつり写真コンクール」や「梅屋敷で野点と紅葉を楽しむ」のほか、多彩なイベントが開催されます。

箕面まつり

日時：7月下旬
場所：芦原公園・箕面駅前等

箕面の夏の風物詩。たくさんの夜店、特設ステージでのダンスイベント、よさこい鳴子踊りや吹奏楽、民舞などのパレードが行われ、多くの観衆で賑わいます。



淀川と京街道を巡る枚方宿

枚方市

淀川と京街道でにぎわう枚方宿のまちづくりプラン

まちづくり協議会　文化観光協会

上記QRコードから簡単にホームページへアクセスできます。
（PCサイトへ移動）

枚方宿地区まちづくり協議会▶http://www.hirakata-shuku.org

枚方市文化観光協会▶http://www.kanko.hirakata.osaka.jp

枚方市からのメッセージ

枚方宿は、東海道57次の56番目の宿場町として、また淀川舟運の中継港として栄え、枚方発展の礎となったところです。淀川の広がりと万年寺山の緑など、自然環境にも恵まれ、地域の方々と共に歴史や自然を生かした魅力あるまちづくりに取り組んでいます。

枚方市は石畳と淡い街灯まちづくり支援事業を活用して、淀川と京街道を活かした枚方宿地区のまちなみ整備をすすめています。さらに賑わい、美しいまちになっていく枚方宿へぜひお立ち寄りください。

整備前後の状況

●万年寺山周道石畳の階段

万年寺山の周道のうち約90ｍを石畳の階段に整備しました。街路灯も17基新設し、枚方宿と淀川を一望できる御茶屋御殿跡展望広場までの道を照らします。

整備前

整備後

●無電柱化事業

無電柱化（京街道の一部区間）により街道の歴史的景観を際立たせ、より魅力ある開放的な歩行空間とします。
（2012年３月末完成予定）

整備前

整備後（イメージ）

●ゲート照明整備

枚方市駅から街道へ続く岡本町公園付近に街路灯７基を設置し、京街道をブロック舗装で復元しました。夜には淡く暖かい明りが通りを包みます。街路灯の一部にはLED照明を使用しています。

整備前

整備後

まちなみの特徴

三矢公園

大名や旗本などの宿舎であった枚方宿本陣は、三矢公園周辺にあったとされています。歴史的な街並みにふさわしい公園として、和風の雰囲気をもった四阿（あずまや）やトイレを備え、平成23年３月にリニューアルオープンしました。

御茶屋御殿跡展望広場

豊臣秀吉が建てさせ、後に徳川秀忠・家光も訪れた御茶屋御殿は、大名の休泊として使用されていましたが、延宝の火災で全焼しました。現在は、淀川を望む展望公園として整備されています。

町家の特徴

枚方宿の町家の伝統的様式は、白壁の外壁に腰板張り、起り（むくり）屋根、むしこ窓、格子付窓…といった意匠です。起り屋根とは、屋根勾配の流れの中央部分が弓状に膨らんだ屋根のことで、関西の古い家に多い様式と言われています。

地域の耳寄り情報

地元からのPR！

枚方宿地区まちづくり協議会では、住民みんなでまちづくりを進めていくための指針として「まちづくり協定」を結び、地域の歴史を大切にしながら、まちの魅力や活力を作り出そうと活動しています。また、街道菊花祭やくらわんか五六市などのイベントの開催や、町家情報バンクという地区内の町家などを貸したい人と借りたい人を結ぶ取り組みなどで、まちの賑わいづくりを目指しています。
歴史と活気のある枚方宿に、ぜひお越しください。

枚方宿地区まちづくり協議会
会長　平澤さんより

観光ボランティア情報

歴史と出逢えるまち枚方を、ボランティアガイドがご案内します。ガイドさんのお話に、歴史に思いを馳せてみては。希望コースを案内いたしますのでお気軽にご相談ください。

【お問い合わせ・お申込み先】
枚方観光案内所
場所：枚方市駅東口改札前
　　市民ふれあいセンター内
☎072-841-0774　10:00～16:00
定休日：木曜日

枚方のおいしいもの

江戸時代、伏見と大坂を結ぶ三十石船が枚方浜に泊まると、船宿から茶舟（くらわんか舟）がこぎ寄せ「餅くらわんか、酒くらわんか」と売り掛けていました。「くらわんか」という言葉は今も枚方宿の歴史のひとコマとして多くの人に親しまれています。枚方の名物に「くらわんか汁（ごんぼ汁）」があります。味噌が入っていない、おからやゴボウが入ったあっさりおつゆ。三十石船に乗った気分で味わってみてはどうでしょう。他にも、枚方には和菓子、味噌、押し寿司やうどんなど、おいしいものが盛りだくさん。

枚方市イベント情報

ふとん太鼓巡行

日時：10月上中旬
場所：枚方宿界隈

４町のふとん太鼓が勇壮な掛け声とともに街道を練り歩くふとん太鼓は、五穀豊穣を願い、意賀美神社に奉納するために行われた秋祭りで、300年続く伝統行事です。ふとん太鼓上部の赤いふとん飾りは、もともと河内地方は綿花の栽培が盛んなところで、それを象徴していると言われています。

ひらかた菊フェスティバル

日時：10月下旬～11月中旬
場所：枚方宿地区・市役所周辺等

枚方宿街道菊花祭、ひらかた菊花展、市民菊人形展、菊ライブ等を実施。

枚方宿街道菊花祭

場所：枚方宿地区京街道沿い

街道沿いの家々の軒先に大菊を展示。「菊」等をテーマとする俳句大会も実施します。

11月中旬には「枚方宿ジャズストリート」開催。

枚方宿くらわんか五六市

日時：毎月第２日曜日　10:00～16:00
場所：枚方宿地区京街道周辺

雑貨や小物、陶芸品など約180店の手作り品・こだわり品が集まる青空市。毎月約5,000人の来訪者で賑わっています。

大広間茶屋

日時：毎月第２日曜日　10:00～16:00
場所：市立枚方宿鍵屋資料館

昭和初期の風情漂う鍵屋資料館の大広間。お菓子やお茶をいただけます。

世界に一番近い
城下町

岸和田市

「世界に一番近い城下町」の魅力を活かしたにぎわい創出事業

岸和田市役所HP　岸ぶら

上記QRコードから簡単にホームページへアクセスできます。
（PCサイトへ移動）

岸和田市役所▶http://www.city.kishiwada.osaka.jp/life/3/

岸和田市観光振興協会公式HP「岸ぶら」▶http://kishibura.jp/

整備前後の状況

●二の丸広場

岸和田城天守閣の目の前にある「二の丸広場」。今回の整備により、広場内を芝生化、更にはイベントステージを設置！市民や観光客がより憩える場となります。
（2012年3月末完成予定）

整備前

整備後（イメージ）

●寺町筋

多くのお寺が面している寺町筋を石畳＆無電柱化（一部）。由緒あるお寺に囲まれた趣のある通りを歩いてみませんか。
（2012年3月末完成予定）

整備前

整備後（イメージ）

●観光交流センター

市民や観光客への情報発信や憩いの場として二の丸広場内に建設。岸和田城周辺にお越しの際は是非お立ち寄りください！
（2012年3月末完成予定）

整備前

整備後（イメージ）

岸和田市からのメッセージ

石畳と淡い街灯まちづくり支援事業において、岸和田市では歴史的観光資源が豊富な岸和田城周辺の整備工事を進めています。この整備により、観光客のみなさまにより満足いただける空間ができると考えています。

あわせて、岸和田は2011年下期の連続テレビ小説「カーネーション」の舞台地となっており盛り上がりを見せています。

この機会に是非、「世界に一番近い城下町」岸和田へお越しください。

まちなみの特徴

岸和田城　10:00～17:00（入場は16:00まで）
定休日：月曜日（但し、祝日は開場）、12月29日～1月3日

寛永17年（1640）岡部宣勝が入城。以後明治維新までの230年間、岡部氏によって泉州統治の拠点として幕府の西国支配に重要な役割を果たしたお城。天守閣前には、庭園設計者の第一人者である重森三玲氏によって設計監督された「八陣の庭」がある。この庭は、中国の諸葛孔明の陣構え「八陣」をテーマとして設計されている。是非、天守閣からその陣構えをご鑑賞ください。また現在では、天守閣ウエディングが行われている城としても全国的に有名。

だんじり会館　10:00～17:00（入館は16:00）
定休日：月曜日（但し、祝日は開館）、12月29日～1月3日

毎年60万人の見物客を呼ぶ岸和田だんじり祭。その祭りの全てがわかる場所がだんじり会館。大迫力の音響と最新映像の大型マルチ映像と建築学的にも貴重な展示物に鳴り物、大工方体験などなど見所満載。1階ではおみやげの販売も行っているので、観光の際は是非お立ち寄りください。

五風荘

紡績や銀行業、レンガ製造に進出して、岸和田にて財を成した寺田財閥。その寺田利吉氏が、昭和4年（1929）より10年の歳月をかけて造営した、屋敷と広壮な回遊式日本庭園です。大規模な日本家屋において冷房設備を設置する等、当時先端のゲストハウス。現在は「がんこ岸和田五風荘」として日本料理とお庭散策を、存分に楽しむことができます。

地域の耳寄り情報

連続テレビ小説「カーネーション」の舞台地

岸和田は連続テレビ小説「カーネーション」の舞台地！放送開始にあわせて市内では観光客をお迎えするムードも上昇。岸和田駅前通商店街では岸和田土産を販売するカーネーション推進協議会公式ショップ「和撫子（カーネーション）」がオープン！さらに、同じく商店街内にある旧コシノ洋装店にてコシノギャラリー「洋裁コシノ」が、また11月3日にはNHKギャラリー「カーネーション」がオープン！

駅や市内観光名所にて無料配布している「コシノファミリーゆかり地マップ」をもって、カーネーションの舞台地・岸和田をご散策ください！

観光ボランティア情報

どこをどう歩けばいいのかわからない…岸和田の歴史について詳しく教えて欲しい…そんなあなたには岸和田ボランティアガイドをおススメします。年間5000人余のみなさまをご案内しているという経験豊富な市民グループで、ガイド費用は一団体につき一律1000円です（何名様でもお値段は変わりません）。歴史に詳しくない方でもガイドさんの優しく楽しい解説にきっと満足いくはずです。お気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ・お申込み先】
岸和田市観光振興協会
（☎072-436-0914　だんじり会館内まで）

毎月第1日曜日
毎月第3金曜日

毎月第1日曜日は岸和田駅前通商店街で「えぇ！きまえ市」開催！
毎月第3金曜日は蛸地蔵商店街で「手作り市」が開催！

岸和田市イベント情報

岸和田だんじり祭

日時：9月敬老の日直前の土日、10月体育の日の直前の土日
場所：岸和田市内一円

約300年の歴史と伝統を誇る「岸和田だんじり祭り」。精緻な彫刻をほどこしただんじりが、9月は海手の町を、10月は山手の町を駆け巡ります。

秋の賑わいフェスティバル

日時：11月
場所：岸和田駅、蛸地蔵駅周辺商店街と岸和田カンカンベイサイドモール、浪切ホール

アマチュア参加のステージ、地元商店街運営のイベントが行われる「どんチャカフェスタ」、地元企業による名産物を紹介する「産業フェア」など盛りだくさん。

ベイサイドB級グルメ大集結

日時：春・秋
場所：岸和田カンカンベイサイドモール

泉州・地元岸和田で愛される「安い」「旨い」噂の店や地元の名店がカンカンに大集結！

まつり前城下町 まち歩き周遊キャンペーン

日時：8月中旬～9月祭礼前
場所：岸和田城周辺

だんじり祭前に様々なイベントを開催！詳しくは「岸ぶら」サイトへ。
（7ページ上部に、QRコード・URL掲載）

牛滝山もみじまつり

日時：11月23日（勤労感謝の日）
場所：牛滝山大威徳寺

滝ともみじの景勝地で知られる牛滝山の大威徳寺で、色鮮やかなもみじの下、地酒・野菜の天ぷら・だんじりグッズ等の販売を行います。買い物をして頂いた方には豪華景品が当たる抽選券を配布！

蜻蛉池公園写真撮影会

日時：5月下旬予定
場所：蜻蛉池公園

写真講師の指導のもとで、色鮮やかに咲くバラや、広場の芝生、大池などをバックにモデル撮影会を行います。なお、この撮影会での作品は「きしわだの四季写真コンクール」のモデル部門の対象とし、岸和田市が観光PR写真として使用します。

歴史のロマンと
ぶどうの香るまち

柏原市（太平寺）

歴史のロマンとぶどうの香るまち

上記QRコードから簡単にホームページへアクセスできます。

柏原市ホームページ▶http://www.city.kashiwara.osaka.jp/

柏原市からのメッセージ

太平寺地区に残されたぶどう畑や古民家の景観を活かして、まち並み整備を行っています。

「伊勢物語」の主人公、歌人である在原業平が通ったまち。

東大寺大仏建立のきっかけとなった智識寺大仏のあったまち。

ぶどう畑と西日本最古のワイナリーがあるまち。

歴史のロマンとぶどうの香るまち「太平寺」をお楽しみください。

整備前後の状況

●石畳の坂道

昔ながらの古いまち並みが残っている坂道。石畳舗装整備により、さらにまち並みが際立ちました。

整備前

整備後

●歴史の丘

歴史の丘に登ると、いにしえの巨大寺院である智識寺跡や天然記念物の楠を眺望できます。まち歩きの際の休息の場としてご利用ください。（2012年春完成予定）

整備前

整備後（イメージ）

●せせらぎ水路

ぶどう棚の小道とせせらぎ水路。道の上にぶどう棚を張り出し、たわわに実ったぶどうの下を歩ける小道や水路を整備しました。

整備前

整備後

まちなみの特徴

ぶどう畑

明治11(1878)年に堅下村平野の中野喜平氏が甲州ぶどうの苗木の育成に成功しました。明治末から昭和初期にかけて、ぶどうの栽培は定着し、新品種の栽培も試みられるなど、拡大を続けました。昭和10(1935)年の、大阪府におけるぶどうの栽培面積は866haで全国最大で、その30%近くを堅下村が占めていました。現在の柏原市のぶどう栽培面積は約150haで、昭和10(1935)年の510haに比べると約70%減少しています。しかし、収穫量の減少幅はそれほど大きくなく、2,000t前後が続いています。効率的な栽培により、単位面積当たりの収穫量が増加していることがうかがえます。

石神社

石(いわ)神社では祭神として、欽明天皇の皇后である石姫(いわひめ)皇后を、また、石長比売(いわながひめ)と熊野権現を合わせて祭っています。鳥居の前には、周囲6m、高さ16mの巨大な楠があります。この楠は樹齢800年といわれており、大阪府の天然記念物に指定されています。境内社務所の横には、奈良時代に建立された河内六寺の1つである智識寺の東塔の礎石があり、大阪府の文化財に指定されています。

業平道

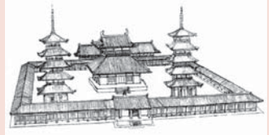
在原業平(825～880)は、平安時代前期の歌人であり、六歌仙と三十六歌仙の1人でもあります。「古今和歌集」への30首をはじめ、数々の名歌を残しました。その中でも「伊勢物語」は平安時代初期の歌物語で、在原業平が主人公であるとされており、第23段に河内越えの物語が登場します。

地域の耳寄り情報

地元のPR！

太平寺地区には大和の都と難波の宮を結ぶ山の根の古道が南北に走っている。ここは、聖武天皇が数百人のお供を連れ輿(こし)に乗って通られた道であるとともに、伊勢物語の主人公と言われている在原業平が八百夜も通い詰めたという「業平の高安通い」として伝えられている業平道でもある。智識寺に見る壮大な歴史ロマンと平安の歌物語の恋愛から、“いにしえの文化”にふれあうことができる。また、当地はぶどうの発祥地で西日本最古のワイナリーがあり、ぶどう狩りやワイナリーを通じて“人とふれあい”、平安の歌物語につながる歴史的まちなみを見ながら往時のにぎわいを偲び、歴史とふれあうことができるまちである。

智識寺のすがた(推定)



観光ボランティア情報

柏原の史跡や歴史などをもっと知ってもらいたいという趣旨から実施しています。柏原の自然やまちなみの中をウォーキングしながら「史跡めぐり」で学び・遊び・楽しんで、参加された方々に有意義なひとときを過ごしていただくサポートをさせていただきたいと考えております。

【お問い合わせ・お申込み先】
柏原の郷土史を探る会
☎072-972-6760
(受付時間:月～金 9:00～17:00)

柏原市（太平寺）イベント情報

石神社夏まつり

日時:毎年7月第3土・日
場所:太平寺地区

地区総動員で行なう恒例の夏祭り。
土曜日の宵宮は石神社境内周辺が屋台で賑わい、日曜日は布団太鼓が地区内を巡る。明治時代、ぶどう栽培が盛んになってから始まったお祭り。

観光ぶどう狩り

日時:毎年8月中旬～10月中旬まで
場所:柏原市観光ぶどうセンター

農家の方が丹精込めて育てられた美味しいぶどうを、大自然の中で味わってみませんか?みなさまのお越しを心よりお待ちしております。
【お問い合わせ・お申込み先】
柏原市観光ぶどうセンター
☎072-971-8308

ワイナリー見学

日時:毎月数回、見学日を設けています。
場所:カタシモワインフード

1000円で試飲もできます。
要予約。カタシモワインフードで随時受付。
詳しくはHPをご覧ください。
http://www.kashiwara-wine.com

古いまち並みと アートなまち 寺内町

富田林市

寺内町にふさわしい賑わいとおちつきのあるまち並み創出事業

まちづくり協議会　じないまち散歩

上記QRコードから簡単にホームページへアクセスできます。
（PCサイトへ移動）

富田林駅南地区まちづくり協議会▶http://www.tondabayashi-machizukuri.org/

富田林市観光協会とんだばやしナビ▶http://tondabayashi-navi.com/

富田林市からのメッセージ

寺内町の歴史的まち並みと居住環境の調和を図りながら、市の玄関口にふさわしい顔づくりや駅から寺内町に至るエリアのまち並み形成を進めております。

今も古いまち並みを残しながら人々は生活をしていますが、町屋を活用した雑貨店やカフェなども生まれています。

昔なつかしい空間の中に新しい風の吹く富田林へお越しください。

整備前後の状況

●城之門筋

寺内町のメインストリートであり、日本の道100選にも選ばれている城之門筋の舗装と照明灯の整備を行い古い町並みとの調和と「あて曲げの道」をイメージした交差点舗装を実施しました。

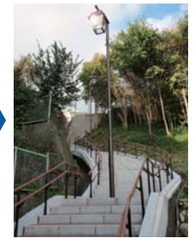
整備前

整備後

●亀ヶ坂

寺内町の魅力のひとつである石川への連絡通路を安全で町並みに合わせた修景に整備し、寺内町と石川が一体となったまちづくりを目指しました。

整備前


整備後

●駅前通り景観照明

市の玄関口として、また寺内町への入口に位置する駅前通り（国道（旧）170号）の電柱を一部無電柱化し景観に配慮したLED照明設備に改修、駅前の夜間照明を演出します。

整備前

整備後（イメージ）

まちなみの特徴

重要伝統的建造物群保存地区

文化庁では周囲の環境と一体をなして、歴史的な風致を形成している伝統的な建造物群と歴史的価値を形成する環境を含めて保存されている地区の中で特にその価値が高いものを「重要伝統的建造物群保存地区」に選定しています。

富田林寺内町は、平成9年10月に大阪府下で唯一「重要伝統的建造物群保存地区」の選定を受け街並保存に取り組んでおり、現在でも約180棟の伝統的建築物が残っています。

寺内町の歴史と成り立ち

寺内町とは真宗の寺院を中心に堀や土塁で防御した町をいいます。

永禄元年、京都興正寺の証秀上人が「荒芝地」を銭百貫文で購入、近隣4ヶ村から8人の有力者を集めて興正寺別院を中心に町づくりをしました。

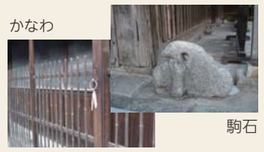
江戸時代には、石川の水運や東高野街道により商業の町として発展しました。なかでも杉山家は酒造業で財をなし、明星派の文人杉山タカ（石上露子）が生まれた頃は南河内一の大地主となりました。

虫籠窓（むしこまど）

窓ガラスが普及するまで二階の明かりとりと風通しのために設けられ、寺内町ではそれぞれの時代の町屋が残されており歴史の変遷を見ることができます。江戸時代は木瓜型・幕瓜型、幕末は扁平型、明治以降は長方形になりました。

駒つなぎ

家の入り口付近の柱など高い位置に取り付けられた「かなわ」には牛をつなぎ、穴の開けられた置石には馬をつないでいました。こうしておくと牛馬は主人をおとなしく待っていたそうです。



毎月第2土曜日
「じないまち散歩」

寺内町に住んでいたり、魅かれてお店を始めて集まった仲間が、この町のよさを感じてもらおうと季節ごとのテーマを決めて開催しています。ぜひ、寺内町の町歩きを楽しんでください。
http://jinaimachi-sanpo.seesaa.net/

地域の耳寄り情報

LLPまちかつ

歴史的佇まいを残す寺内町や商店街にある町屋、蔵などの伝統的建物やレトロな雰囲気の残る空き店舗に「あなたも町屋に工房をもちませんか?」を合言葉に活用希望者との橋渡しを担う組織として設立されました。

【お問い合わせ】
富田林市本町17番17号
FAX:0721-25-5908
E-mail:info@machikatsu.jp
URL:www.machikatsu.jp

紅梅蔵（里庭、23番地、月桃）

かつての味醂蔵を活用した店舗です。石窯パン・こだわりの野菜を使ったランチのお店、手づくり・手仕事品のお店、ナチュラルドライフラワー・祭禮用品のお店の3店舗。

mame-ten cafe

天然酵母と国産小麦を使用したパンとお菓子のお店です。店主自ら内壁の漆喰塗りなどもして改装しました。

寺内町クラシコ

築120年以上の元お米屋さんだった古民家を活用し、古民具と新しい和の技とデザインの日用品を紹介・販売しています。焙煎コーヒーもはじめました。

富田林市 寺内町イベント情報

新春初鍋めぐり

日時：1月
場所：寺内町

地域の皆さんが心をこめて作る温かい鍋やうまいモンを食べながら、お正月の余韻の残っている寺内町の戎っさんにお参りしよう。

じないまち雛めぐり

日時：3月
場所：寺内町

美しい町並みが残っている寺内町の民家や商店、まち角に100ヶ所以上お雛様が飾られます。

ボランティアガイド

地元住民が寺内町の歴史や伝統ある美しい町並みを来訪者に案内します。

富田林寺内町ボランティアガイドの会へ依頼については、事前に「じないまち交流館」へお申し込みください。

開館時間/午前10時～午後5時、月曜休館（月曜日が祝日等の休日の場合は、その翌日が休館）0721-26-0110

寺内町燈路

日時：8月
場所：寺内町

ゆれるロウソクの灯が古い町並みを映し出す幻想的な富田林の夏の風物詩。1000基の行灯とともに往く夏を送ります。

後の雛まつり

日時：10月
場所：寺内町

本瓦、白壁、土蔵、虫籠窓。江戸時代から続く町並みに、菊花とお雛さまを飾ります。秋の澄んだ空の下、寺内町に散歩にいらっしゃいませんか。

農とクラフトフェア

日時：5月と11月（平成23年は11月26・27日）
場所：寺内町

寺内町が育んできた歴史と文化を活かしながら、地域一体でファーマーズマーケットとクラフトフェアを行い、「暮らしが息づく」まちの魅力を発信します。

宿場町の歴史を伝える
いにしえの道

河内長野市

高野街道にぎわい・まち並み再生プラン
（いにしえのみち復活プロジェクト）

観光協会　河内長野市HP

上記QRコードから簡単にホームページへアクセスできます。
（PCサイトへ移動）

河内長野市観光協会▶http://www.kankou-kawachinagano.jp/

河内長野市ホームページ▶http://www.city.kawachinagano.lg.jp/

河内長野市からのメッセージ

京の都と高野山を結ぶ高野街道は、古くから高野山の参詣客でにぎわっています。高野街道沿いの宿場町として栄えた三日市宿や、古くから天野山金剛寺で知られ、豊臣秀吉など著名な武将にも好まれた天野酒を製造している、西條合資会社の旧店舗など歴史ある建物が残っています。

現在、さらなる魅力向上のため、高野街道のにぎわいやまち並みを再生する取り組みを進めています。街道の景観舗装や街灯の設置、休憩施設を整備し、古いまち並みを再生しました。また、高野街道まつりやまち歩きなどのイベントを実施していますので、歩いて楽しめる高野街道を訪れてみてはいかがでしょうか。

整備前後の状況

●河内長野駅

駅舎から駅前広場において、皆さんをもてなすとともに高野街道が感じられるような修景やサイン等の整備を行います。改札を通ると、すぐに街道の雰囲気が楽しめ、高野街道の入口までスムーズに移動できるようになります。（2012年3月末完成予定）

整備前

整備後（イメージ）

●酒蔵どおり

河内長野市の銘酒である天野酒を製造している西條合資会社の通りを『酒蔵どおり』と呼び、歴史遺産を活かした出会いやふれいの場として、まちなみの景観づくりを実施します。（2012年秋完成予定）

整備前

整備後（イメージ）

●烏帽子形八幡神社前休憩施設

烏帽子形八幡神社前に休憩施設を整備しました。解説板により高野街道の魅力を発信。散策モデルコースのちょうど中間点に位置するので、高野街道を歩くときはぜひお立ち寄りください。

整備前

整備後

まちなみの特徴

長野神社

幕末まで木屋堂宮とも呼ばれ、本殿は室町末の建築であり重要文化財に指定されています。境内にあるカヤの木は、大阪府の天然記念物に指定されています。毎年十月中頃には、松明神事がおこなわれます。

烏帽子形城址照葉樹林

喜多町にある烏帽子形山は、その山容が烏帽子のようであるためこの名がつき、山頂には古くから楠木七城の一つと伝えられる烏帽子形城址があります。

三日市宿

高野街道の河内側最後の宿場として栄えた歴史があり、歴史的建築資産も多く残されています。夜には、街灯の光で昼間と違った雰囲気が味わえます。

烏帽子形八幡神社

烏帽子形山の東斜面中腹にあり、本殿は重要文化財に指定されています。また、神社を含む一帯は、城跡で史跡として河内長野市の文化財指定を受けています。

増福寺

畠山義深ゆかりの寺であり、河内国守護を辞めた後、この地に住み、亡くなりました。彼の戒名からこの寺の名がつきました。お寺には、旧法の重要美術品、木造十一面観音があります。

旧三日市交番

昭和27年に建築された府内に残る数少ない木造建築の交番です。本事業において、当時の色を研究再現し、地域の歴史的資源の情報発信拠点として改修します。

地域の耳寄り情報

河内長野市の銘酒　天野酒

古くから天野山金剛寺で作られた僧坊酒であり、室町～戦国時代にかけては豊臣秀吉など著名な武将にも好まれました。また、現在地酒として天野酒を製造している西條合資会社の旧店舗は、幕末～明治初期の建築で、国の登録文化財に選ばれています。

観光ボランティア情報

河内長野市は、奈良県・和歌山県と県境が接していて、古くから交通の要所としてひらけていました。文化財宝庫のこのまちを、ボランティアガイドがご案内いたします。

【お問い合わせ・お申込み先】
河内長野市役所商工観光課（0721-53-1111）
河内長野市観光協会ホームページにある「ボランティア倶楽部申込書」に必要事項を記載の上、FAXにてお申込みください。
（FAX：0721-55-1435）

河内長野市 イベント情報

大盆踊り大会

日時：8月下旬
場所：ノバティながの平面駐車場辺

長野音頭や河内音頭、江州音頭が櫓から流れるのが、ここならでは！ にぎやかに輪になって、大人も子どもも一緒に踊れば陽気になれますよ！ 露店もたくさん出店の予定。浴衣で日本の夏を満喫しよう。

秋祭り

日時：10月上旬
場所：河内長野市内一円

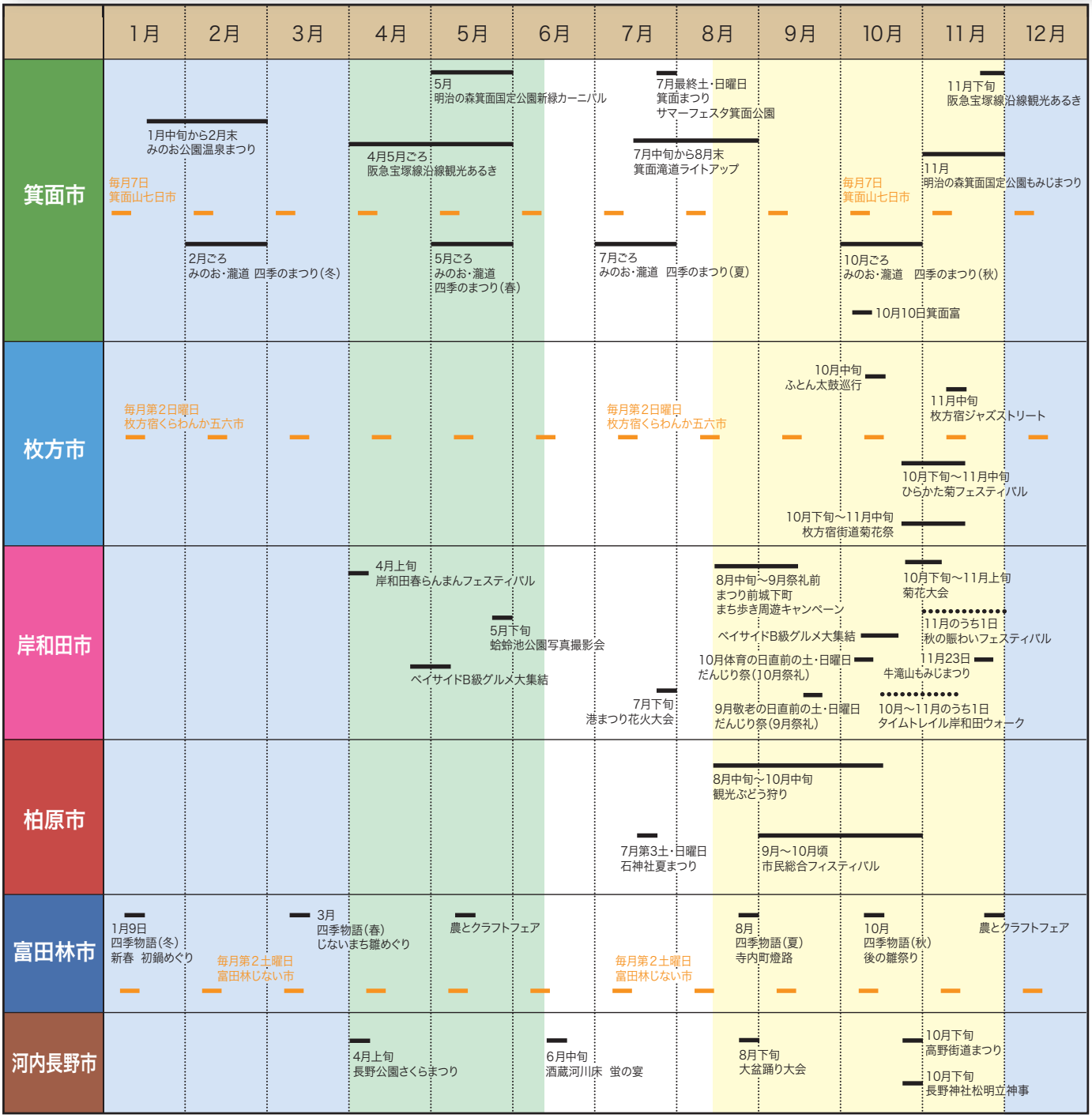
河内長野の４地区から、25台のだんじりが出陣。それぞれの地区から有志たちが、勇ましい掛け声とともに、だんじりをかつぎ練り歩きます。だんじりも1台1台、地区ごとに特徴があります。

高野街道まつり

日時：10月下旬
場所：河内長野駅前～三日市町駅前

歴史的・文化的な遺産が数多く存在する「高野街道」。旧街道を象徴する古民家や建造物もたくさん残るレトロな街道で、にぎわい市や地場野菜の販売、スタンプラリーなど、様々なイベントを開催します。

平成24年　6地区関連 イベントスケジュール（予定）



※日程等は変更となることがありますので、お出かけの際は予めお問い合わせいただくか、広報やホームページ等でご確認ください。

石畳と淡い街灯まちづくり連携協議会　2011年11月 発行

＜お問い合わせ先＞
箕面市地域創造部箕面営業課　箕面市西小路4丁目6－1　☎072-724-6905(直通)
枚方市都市整備部まちづくり推進課　枚方市大垣内町2丁目1-20　☎072-841-1221（内線3959）
岸和田市産業振興部観光課　岸和田市岸城町7-1　☎072-423-9486(内線2808)
柏原市政策推進部企画調整課　柏原市安堂町1-55　☎072-972-1501（内線3512）
富田林市まちづくり政策部富田林駅南地区整備課　富田林市常盤町1-1　☎0721-25-1000(内線434、435)
河内長野市市長公室企画政策室　河内長野市原町1丁目1-1　☎0721-53-1111（内線343）
大阪府都市整備部市街地整備課　大阪市中央区大手前2丁目1-22　☎06-6944-7678(直通)